2021 年度実施概要

学校名

唐津市立佐志小学校

採択活動名

ふるさと佐志の海に学ぼう！

実施単元　※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1.「佐志大好き！～佐志の海」	３年	総合
2.「知ろう！学ぼう！体験しよう！～佐志っ子 私たちの海」	５年	総合

取り組みの概要

今年度も新型コロナウィルスの感染防止に追われる１年となった。海洋教育については、体験活動や外部講師を招いての活動が中心であるため、受ける影響も大きく、延期や中止、規模縮小や実施方法の変更に追われたが、少なくとも前年度に行った活動は概ね実施することができた。

３年では、玄海漬から髙田社長をお招きして、佐志地区は昔から漁業が盛んだったこと、クジラも捕れたこと、豊かな海の幸を生かした産業も盛んになったことなどを知った。また、名護屋城博物館の安永学芸員や原口前校長を招いて学習を深め、インターネットや図書室の図鑑で調べたことも加えて、グループごとにテーマを決め、模造紙にまとめた。これは学校内だけでなく、地域の公民館にも掲示してもらい、地域の方にも発信をした。また、地域の海の清掃活動も行った。残念だったのは東京からクジラ博士を招いて、より学びを深める予定であったが、コロナの第５波と６波の影響で結局、実施できなかったことと唐津の名勝地である虹の松原の清掃活動も説明を聞くだけに終わったことである。

５年では、佐賀県玄海水産振興センターや地域の唐房漁協の方の支援を受けて、地引網体験やワカメの養殖体験、カサゴの稚魚放流といった貴重な体験をさせていただいた。また、学校近くの幸多里の浜の清掃活動にも取り組んだ。このような活動と調べ学習を関連づけていく中で、海の環境や海洋資源などについての課題に気づき、学習を深めることができ、これらについては１年間の集大成としてパワーポイントの資料を現在、作成している。５年生はこの他、波戸岬少年自然の家でのシュノーケリングやカッター体験、波戸岬海中展望塔見学を計画していたが、これも新型コロナの影響で断念せざるを得なかった。

このような学習を通して、児童が、探究的な学び方を身に付けるとともに、自分自身が生活する身近な地域のもの・こと・人とのつながりを実感したり、地域を誇りに思い大切にしようとする心情を持ったりすることで、社会と主体的に関わり、創造していこうとする意識の基盤を育むことにつながった。

その他、１年と２年は生活科で海に親しむ学習を行った。本校の近くには４年前に「佐志浜人工海浜」が作られ、小さな子が海遊びを楽しめる施設となっている。そこで、７月に「なつをたのしもう」で遊ぶ計画を立てた。グループごとに遊びを考えて計画書にまとめ、砂山や池や川を作り、トンネルを掘ったり貝殻や海藻で飾ったりして楽しむことができた。

新型コロナの影響はまだまだ収束の見通しが全く立たない。そのような中ではあるが、海に面し、地域の支援や施設もあるという学校の地理的、人的な特色を生かした海洋教育をこれからも行っていくことで、児童の地域への愛着を深めるとともに、持続可能な社会を担う人材育成につなげたい。